



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

氷見ロータリークラブ

2021～2022 年度会報



氷見ロータリークラブ会長就任挨拶

2021-2022 年度
氷見ロータリークラブ
会 長 竹岸 秀晃

この度、歴史と伝統のある氷見ロータリークラブの会長に就任する事になりました。浅学非才の身であります但氷見ロータリークラブの名を汚さぬよう運営に努力致しますので会員の皆様の暖かいご指導、ご協力をよろしくお願い致します。

まずもって、このC o v i d-19の世界的なパンデミックが続く中、大変苦勞されているいろいろな活動をされている会員の皆様に敬意を表するとともに、一日も早いこのパンデミックの終息を願ってやみません。

さて、2021-2022 年度R I 会長シェカール・メータ氏は、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」のテーマのもと、年度内に少なくとも1回、実践的かつ行動志向のロータリー奉仕デーのイベントを開催していただきたいと提言されています。

そして、「意欲を刺激する」「アイディアを集める」「イベントを計画する」そしてその成果を祝い、記念に残すことが大事であると提言されています。

また、2610 地区の神野正博ガバナーは「レジリエンス～未来のロータリーを築こう」というテーマを掲げておられます。地区の方針の中で困難な時こそ、革命が生まれ国際ロータリーが発展してきたことも忘れてはならないとおっしゃっておられます。

このコロナ禍で、今までとは違った形での活動が求められると思いますが、会員の皆様方と力を合わせて前進していけたらと思います。

一年間宜しくお願い致します。